

eco's 通信

2008
9月
vol.184

お客様から感謝状を頂きました

お客様から感謝状をいただき、「身に余る光栄」のひとつです。左より、松下、福島、矢田、福間各社員。



このたび、私たちが携わった、混油事故や油流出事故処理にあたり、お客様から高い評価をいただき、感謝状をいただくことができました。今まで、そのお客様は取引先に対して感謝状を出されたことはなく、今回私たちが初めてだそうです。今回なぜ？感謝状を出されたのかうかがってみました。

「確実に迅速に処理をして頂き、感謝しています。その一念です。また、社員の皆さんの明るく前向きな姿も、大変よかったです。」という身に余るお言葉をいただきました。

今回の処理業務について、携わった社員が集まり、評価された点を私たち側でチェックしました。

- ・一報を受けてから、最優先で対応した。
- ・資材等のバックアップ体制をしっかりとった。
- ・石油元売会社様の相談相手になり、提案を行った（知識・情報提供）。

- ・保健所への申請書類等の作成に協力した。
- ・当社の人脈を活用し、素早い手続きや資材の確保ができ、工期短縮につながった。
- ・早く終わらせたい気持ちで動いた。
- ・リーダーの大きな声で指示・連絡が行われ、誤確認がなかった。
- ・冷茶用ポットを準備した（関係者様との距離が縮まった）。

私たちは、お客様が困っておられる時これまで以上に、お役に立つことができる為には、チェックした項目と先輩社員から伝承された技術や知識が大切であると強く強く認識します。そして、それらを整理し学び、私たちの財産としていきます。

その事が「お客様に『安心』を差し上げることに繋がる。」と信じています。

（長野）

創業25年 繁盛店訪問
有限会社オートボデーK 様
 〒699-1242
 島根県雲南市大東町大東下分180-1
 TEL0854-43-3042 FAX0854-43-6629



代表取締役 野々村一己様

社長様が29才の時に起業され、昭和62年に現在地に新築移転されました。社員数は10名で、钣金・塗装・車検・車輛販売・保険業務・各種シール・リース販売・レンタカーの営業をされ、車の総合病院と

言えます。廃棄物の削減等、環境意識の高揚を図るため、積極的な環境活動を行っておられます（平成17年1月14001取得。平成19年に2004年版を取得されています）。

環境に優しい優良事業場として、島根運輸支局長表彰を平成17年より3年連続受賞され、今年中国運輸局長表彰を受賞の予定です。

車の修理は、廃棄物を減らすため、中古とリサイクルパーツを積極的に採用しています。資源を大切にし、お客様にとって総合的に安く仕上がるように工夫されています。仕事が早く、丁寧でしかも安いのが当社の自慢です。

H19年5月車検の指定工場となりました。わざわざ車検を受けに遠方までいなくてもよくなりました。CO2削減に貢献できる店作りを目指しています。また、新たな商品として、365日24時間対応のロードサービスも取り組んでおられます。お客様の要望にお答えし、喜んでいただけるサービスです。

「車のことなら何でも相談してください。自慢の設備と技術でお客様をお待ちしています。」社長様から頼もしいお言葉を頂きました。



整理整頓された整備工場。床にゴミや部品が散らばってなくピカピカに光っています。



後列左より、船木様、周藤様、新出谷様、小林様、前列左より、松本様、安部様、門脇様。このほか当日お休みだった、糸原様、藤原様、佐々木様がいらっしゃいます。



環境管理責任者の安部様

「専門自動車修理工場では、ISO14001の取得は少ないと思います。

まずは社員の意識改革で、部門ごとに責任者を決め、勉強会を開いています。活動は順調です。当初は、電気の削減等に取り組んでいました。

現在は、ガソリンの削減、整備に使う消耗品の使用制限をして過剰な使用をしないなどに取り組み、守られています。地域環境の美化にも積極的に参加し、社会奉仕作業を職場全体で行っています。地域貢献できる企業を目指します。」と環境管理責任者の安部さまから、自信をもった、力強い環境活動の様子を伺いました。（長野）



工場外に設営された屋根付廃棄物置き場。雨に濡れることもなく、処理しやすく、オイル、エレメント、廃LLCがきちんと分別されています。



きちんと分別された資源ゴミです。

環境への地道な取り組み

8月30日、九州住電装株式会社島根工場様（雲南市大東町）において環境展が開催され、私たちの会社もパネルを出展させて頂きました。

当工場は、自動車産業発展の一翼を担う、ワイヤーハーネスの専門メーカーで、2001年11月にISO14001を認証取得され、環境問題を企業活動として取り組んでおられます。環境活動についての取り組みを外部発信し、地域の人に理解を求める目的で行われました。

今回、速水・雲南市長はじめ地元自治会、従業員及びその家族等、330人もの来場がありました。雲南市も早くから環境に対して取り組んでおられ、地域の方々の環境に対する意識の高さを感じました。



スタッフの町尻様、村上様、飛田様（写真左より）。環境カードを各自携帯し、目標を掲げています。

スタッフの方と万華鏡作りをおこなっている子供達。ゴミを分別して捨てることや物を大事にする事などの環境学習を兼ねて行われています。



日々の取り組みとして、ペットボトルのキャップの回収等、小さな活動もこつこつと地道に活動しておられます。前回の環境展より更に、社員の皆さんの意識が高揚し、最近では家庭にも浸透させているそうです。家族の協力あつてのことです。このように、地域ぐるみで環境活動がおこなわれており、地元に誇れる企業だと感じました。私たちも出来ることからやろうということで、ペットボトルのキャップの回収を始めました。（長野）

地域の皆さんの九州住電装(株)島根工場への期待は大きく、雇用面でも地域貢献できる企業です。



8月の安全講習

先月、お客様先で、廃油収集中にホースがはねて、近くに止めてあった新車の泥除けを傷つけるという事故が発生しました。各収集マンの収集作業の仕方、特にホースの伸ばし方を検証し、最良な作業方法を見つけ出し、全員が安全かつスピーディーな作業ができるようにします。各収集マンのやり方を聞いてみました。

- ・お客様先で、近くに車両等がある場合、移動してもらおう。
- ・ホースが車に当たらないように、古タイヤ・ドラム缶・セーフティコーンを置く。
- ・ホースのパイプをはずして、ねじれを戻す。
- ・少しずつ慎重にホースを伸ばす。漏油しないよう、ホースの先にウエスを付ける。

・収集作業中は吸引力でホースがはねるので、ホースハンガーより全部降ろしたほうがよい。

冬場はホースが硬くなって、圧力をかけた場合、はねやすく、周囲の車や物にホースを当てないように、非常に気を遣います。車輛等を移動して頂ける状況なら移動して頂き、少しずつ慎重にホースを延ばしていきます。ホースの長さについて、ある収集マンは常時30m積載していますが、20m程度に短くし、ホースをジョイントした方がよいのではないか、という意見も出ました。ホースが長いと、上げ下ろしに時間がかかることと危険度が増すからです。安心・安全、スピードを考えた場合、どうしたら一番よいのか、引き続き検討します。（長野）

東出雲町経営革新塾－「トヨタ生産方式に学ぶ」～8月8日受講の感想～

トヨタは徹底した原価管理をしているが、考え方は『作った物を売るのではなく売れる物を作る』というお客様の側になった物作りをしている。これは当社にも当てはまることであり、いくら作っても売れなければ売れない。売れる物とはお客様にとって良い物であり、しかも安く環境によいとかがというものになる。実際の生産現場ではできるだけ安く作ることを要求されているから、ムダを徹底的に排除して生産をおこなっているようである。

特に感じたのは通常の考え方が

原価主義：売値＝原価＋利益 の考え方でものを作っているのであるが、これでは原価が上がれば、売値も上がる。「世の中が物価高だから仕方ないか…」

一方、トヨタは原価低減を唱えている。

「お客様第一主義で徹底的な原価低減に取り組む⇒

原価との闘い」

この考え方で行くと物が売れて初めて利益が出る！！

利益を出すためには原価を抑えないといけないと考える。今回はなぜ今原価を下げないといけないが、よくわかりました。（木村）

トヨタ生産方式について学んできました。私はかつて、デンソーに5年弱勤務していましたし、トヨタ自動車の期間従業員をやっていたこともありましたが、なつかしいなと思いながら聞いていました。今の仕事にトヨタ生産方式の考え方を応用するとなると、なかなか一筋縄ではいかないなとも思いました。

最後の方では、まずはとにかく5Sだという講師の方の教えを耳に痛く感じました。とにかく5Sメインできれいな工場作りを目指そうと思いました。（伊達山）

第18回本社一斉清掃の実施

平成20年8月23日8:00～10:00

秋風が吹いて、さわやかな清掃日になりました。会社周辺のゴミ拾いをしてから、事務所・工場周りの草刈と分離槽清掃を行いました。前日まで雨だったので土が軟らかく、草がおもしろいように抜けます。調子に乗ってしまい、時間をオーバーしてしまいました。今回は多数の社員が参加し、勢いがあり、汗をかいてもとても気持ちよく、きれいさの度合いも違うように感じました。

(長野)



「今後も参加したい」と実習生の藤原君は言ってくれました。

『いわたくんちのおばあちゃん』を読んで

この本を読んで、思い出すのが、うちのじいちゃんの戦争体験談です。僕がまだ幼い頃、たしか小学校3年生から6年生ぐらいだったと思います。

「じいちゃんが18歳頃に広島の大原で戦争に出るための訓練をしていた。訓練中にケガをしたため、実家に一時帰宅させられた。その間に原爆が広島に落とされ、知人友人をたくさん失った。」と戦争の悲惨さを夏休みのお盆に、僕に話してくれました。その話を、夏休みになりお盆になると今でも思い出します。

僕をはじめとし、戦争を知らない人がたくさんいます。本当の戦争の悲惨さを、子供たちと学び続けたいです。

(松本)

8月の指定図書



出雲大社特別拝観

国宝・本殿の一般公開

60年に一度という特別な年「平成の大遷宮」にあたり、出雲大社御本殿を特別拝観させていただきました。特別なチャンスを与えて頂き、地元銀行様と会社に感謝します。

「百聞は一見にしかずとは、まさにこのことだ！」と感じ、言葉では表現のしようのない感想を持ちました。いろんな技術や機械が発展している中で、機械にはない、人の手作業のみで守り続けられている歴史の深さや、次の時代、また次の時代へと守り続けていこうという人たちの熱い気持ちを感じました。

(榎並)

250年前に描かれた本殿の天井絵「八雲」の色の鮮やかさに大変感激した。また、天皇家も上がれない本殿の一段と高いところに立ち、大社全景を眺められ、もう二度と無いであろう経験ができた事に感謝の気持ちでいっぱいでした。

(井上)

60年に一度の大遷宮を近くで見届ける事が出来ることは、幸せな事と感じています。また、ご本殿の天井八雲の図を拝観した時は、寛文7年に奉納されたにも関わらず、色彩のずばらしさ、八雲という意味をもつ絵はとても印象深いものでした。八つあったと思われるもう1つの雲を是非この目で見たいと思っています。やはり、出雲大社というお社にはなにか人を引きつけるものがあると感じながら、またパワーを頂いた様な気持ちでいっぱいです。

(鳥屋原)

神聖な場所にあがり、厳かな気持ちなり、普通体験できないことができ、うれしく思いました、又天井八雲之図は、何年もの時間を経ても変わらなくすばらしかったです。

(桑本)

普段は上がれない本殿の回廊を巡回し、正面に開いた扉から、中央に心御柱（しんのみはしら）が立ち、天井には鮮やかな極彩色の天井画を見ることができました。249年もの年月を経ているとは思えないような鮮やかさであり、魂が入っているのではないかと思われました。敬虔な気持ちになることができました。

(長野)



元氣の出る言葉

中村天風師

自分自身を自分自身が磨かない限り、
自分というものは本当にえらくならない

(「君に成功を贈る」より 日本経営合理化協会刊)

心のもち方ひとつでその人の人生はよくも悪くもなるものです。自分の心をおおらかにし、前向きに明るく生きていけば道は開けると思う。後ろ向きになりがちですが、自分に言い聞かせています。自分に試練を与え、日々勉強と考え、いつも前向きにいこう！

(長野)



ゴーヤの花。朝露がみずみずしく光っています。次々とかわいい花を咲かせます。

自分を高める今月の一冊

9月の指定図書

無人島ウイ-

しあわせ”ってなんだろう？

渡邊美樹作 日本経済新聞出版社



《自分の幸せだけを追求している人は、い
ずれ他人から必要とされなくなります。社
会から必要とされなくなります。… (あとがき)》

私が経営者の仲間入りしたときに、師匠の小野さん
が教えてくれました。「会社には理念が必要です。会
社はなんのために存在するのか？それをまず事業発
展計画書にまとめなさい。」

計画書の中に、会社の理念を、はっきりと社員の皆
に示すことができ、以来「会社は社員の物と心の両面
の幸せを旨とする」ことを、まず第一の使命としました。

今自分の利益だけを追求した経営者が、テレビで謝
罪しています。経営者は、罰を受けて当然です。しか
し突然働く職場を失った社員と、たくさんの家族には
なんの罪もありません。

お客さまを大切にするのも、会社に利益をもたらす
のも、結局は社員の働きによって生まれます。もっと
この理念を追求していきます。(山根)

蔵書新着情報

- ・『セルフ・コーチング』 庵里直見 丸善株式会社
- ・『蔵人』6巻 尾瀬あきら 小学館
- ・『BLACK BOOK 蔵人独白』 真木蔵人 コアマガジン
- ・『日本でいちばん大切にしたい会社』 坂本光司 あさ出版



収穫期を過ぎ、熟れてきたゴーヤ。きれいな色で鑑賞用です。

発行日：毎月10日
 発行：690-0025 島根県松江市八幡町796-20
 TEL 0852-37-2470
 FAX 0852-37-2472
 山陰興業(株) ECO'S通信編集部長 長野
 E-mail :h.nagano@e-skk.co.jp
 印刷：授産センターよつば

ホームページ公開中(<http://www.e-skk.co.jp>)

原稿を公募します

本紙の原稿を公募します。800字～1000字程度で、環
境をテーマにしたものを希望します。薄謝ですが、原稿
料を支払います。締め切りは今月末です。編集部宛、ど
んどんお寄せください。

今月のクイズ

解答を下記の編集部までお寄せ下さい。応募の方法
は、ファックス、電子メール、ハガキ、営業マンに渡し
ていただいても結構です。正解者の中から抽選で1名様
に賞品を差し上げます。今回の賞品
は、二十世紀梨10kgです。締切は9
月末です。ふるってご応募くださ
い。



Q：島根県は高齢者が元気で生活で
きるような仕組み・環境作りを進
め、全国的にも平均寿命が高位に
位置しています。2005年の島根県の女性の平均寿命
は、86.6歳ですが、全国何位でしょうか？

先月号の答えは「ありがとう」でした。抽選の結果、
雲南市矢壁様が当選です。おめでとうございます。

応募用紙 (答)

会社名または住所、氏名

FAX 0852-37-2472 E-mail h.nagano@e-skk.co.jp

編集後記

8月17日、大手スーパーのイオンが漁業協同組合JFし
まねから直接鮮魚を仕入れ、関西のスーパーの店頭
に並びました。スーパーが市場を通さずに漁協から直接買
い取るのは異例のことだそうです。

燃料油価格高騰対策ですが、漁業者は収入の増加が期
待できるし、消費者は新鮮な魚介類を購入することが出
来ます。また、関西地方にJFしまねの名前が周知され、
私たち島根県民にとっても大変喜ばしいことです。都会
の人たちに島根の新鮮な魚を食べ、喜んでもらいた
いと思います。

このように流通経路を変えることは、画期的なこと
であり、生産者(漁業者)と消費者の双方にメリットが
あります。今後も定期的な実施されるようですが、イ
オンの取り組みを大いに評価したいと思います。

(長野)